

特定非営利活動法人 日本医療推進事業団 設立にあたって

初代理事長 廣澤弘七郎

わが国においては、心臓病、とくに心血管疾患の診断および治療法についての科学的知見（根拠）に基づいた指針は少ないと言えます。一方、欧米、とくに米国には ACC や AHA の指針をはじめとする多くの優れた指針があります。わが国の指針はこれら欧米の指針によっているところが大きく、指針の基礎となる精査したデータによる根拠もさることながら、根拠を作るシステムさえ確立されているとは言えないのが現状です。

欧米とは歴史も文化も異なるわが国では、欧米の概念をそのまま取り入れるのではなく、日本社会として納得のいく基準を作る必要があります。私どもは長年にわたり多くの優れた循環器専門医を育成し、“患者のための医師”を実践してまいりました。その実践を基に、平成 12 年より、20 数病院に及ぶ連携病院において診療に関する指針の作成を目指して臨床研究ならびに基礎研究に日夜努力を重ねて来ました。

そこで、これまでに培ってきた経験と実績をふまえ、かつ国際的な足並みを意識して、複数の施設による共同研究を行うことによって、わが国に適用しうる基準を得るための成果を高めていきたいと考えました。そのことは同時に、日本国民の一人でも多くの人々に予防医学および薬害、医療機材による合併症の防止等の知識を普及させ、健康の維持増進を図るために必要な調査、研究を行うことに大きく貢献するものと確信しております。そして、これらの数々の経験は、将来に引き継がれ、更なる向上・発展を重ねて、時代の要請に応じ、広く社会に還元されなければなりません。そのためには、医学・医療の国際性を高め、人的交流等の国際協力でその成果を生かしていく機会を創出することも今後の重要な課題であります。

このような視点から、私ども有志は「特定非営利活動法人日本医療推進事業団」を設立し、活動を開始することにいたしました。是非、この趣旨にご賛同いただき、多くの方々のご参加をお待ちしています。

2003 年 6 月